

|                          |   |  |  |              |           |            |
|--------------------------|---|--|--|--------------|-----------|------------|
| 事業名                      | 近畿自動車道 紀勢線<br>紀伊長島～紀勢大内山  |  | 事業区分   | 高速自動車国道      | 事業主体      | 中日本高速道路(株) |
| 起終点                      | 自)三重県北牟婁郡紀北町紀伊長島区東長島<br>至)三重県度会郡大紀町崎  |  |  | 延長           | 10 km     |            |
| 事業概要                     | 近畿自動車道紀勢線は紀伊半島沿線地域の産業・経済・文化観光等の発展及び振興に資する路線である。   |  |  |              |           |            |
| H10年度事業化                 | H8年度都市計画決定  |  | H16年度用地着手  |              | H18年度工事着手 |            |
| 全体事業費                    | 585億円   |  | 事業進捗率  | 31%          |           | 供用済延長 0 km |
| 計画交通量                    | 6,100台/日  |  |  |              |           |            |
| 費用対効果分析結果                | B/C<br>(事業全体) 1.6<br>(残事業) 1.8  | 総費用<br>(残事業)/(事業全体)<br>514/577億円<br>事業費：446/509億円<br>維持管理費：69/69億円 | 総便益<br>(残事業)/(事業全体)<br>911/911億円<br>走行時間短縮便益：787/787億円<br>走行費用減少便益：93/93億円<br>交通事故減少便益：32/32億円 | 基準年<br>平成20年 |           |            |
| 感度分析の結果                  | 残事業について感度分析を実施  |  |  |              |           |            |
| 交通量変動                    | : B/C=1.9 (交通量 +10%)  |  | B/C=1.6 (交通量 -10%)   |              |           |            |
| 事業費変動                    | : B/C=1.6 (事業費 +10%)  |  | B/C=1.9 (事業費 -10%)   |              |           |            |
| 事業期間変動                   | : B/C=1.8 (事業期間 -1年)  |  | B/C=1.7 (事業期間 +1年)   |              |           |            |
| 事業の効果等                   | 日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる<br>緊急輸送道路 国道42号 が通行止めになった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する<br>三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる 他15項目に該当   |  |  |              |           |            |
| 関係する地方公共団体等の意見           | 三重県南部地域は、年間降水量が非常に多い日本有数の多雨地域です。このため、国道42号は降雨・災害などによる通行止めになるなどして、地域がしばしば孤立化するため、新たな代替路が強く求められています。また、将来発生が懸念されている東南海・南海地震への備えも必要であり、防災対策の強化が急務です。本路線は、緊急輸送路『命の道』として整備が特に重要な区間であることから、三重県知事から整備促進の要望(平成20年11月19日)を受けている。 |  |  |              |           |            |
| 事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等  | 隣接する紀伊長島～尾鷲北間は、新直轄として整備中。平成18年3月に勢和多気JCT～大宮大台間、平成21年2月に大宮大台～紀勢大内山間が開通。紀勢自動車道整備により、バスを使った新たな旅行プランを計画。  |  |  |              |           |            |
| 事業の進捗状況、残事業の内容等          | 現在、工事中。   |  |  |              |           |            |
| 事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 | 今後も引き続き工事の進捗を図る予定。  |  |  |              |           |            |
| 施設の構造や工法の変更等             | 新技術・新工法や現地の状況変化も確認しながら積極的にコスト縮減を図っていく。  |  |  |              |           |            |
| 対応方針                     | 事業継続  |  |  |              |           |            |
| 対応方針決定の理由                | 以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。   |  |  |              |           |            |
| 事業概要図                    |   |  |  |              |           |            |

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。